

製品名: FoxK1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab11091**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	78kDa

抗原情報

遺伝子名	FOXK1
別名	FOXK1; MNF; Forkhead box protein K1; Myocyte nuclear factor; MNF
遺伝子 ID	221937.0
SwissProt ID	P85037
免疫原	抗血清はヒト FOXK1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 681-730

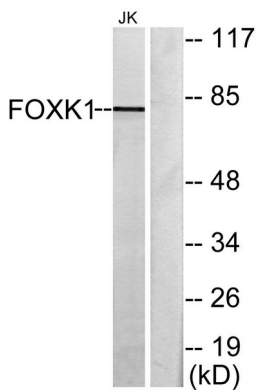
背景

機能: ミオグロビン遺伝子上流エンハンサー領域 (CCAC ボックス) に結合する転写調節因子。生理的刺激に反応して起こる成体筋肉の筋原性分化およびリモデリング過程に関与する。PTM: リン酸化されている。類似性: 1つの FHA ドメインを含む。類似性: 1

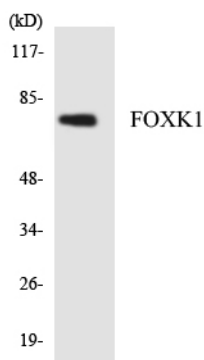
つのフォークヘッド DNA 結合ドメインを含む。サブユニット: SIN3B と相互作用して転写を抑制する複合体を形成する。組織特異性: 発生期および成体組織の両方で発現する。成体では、脳、結腸、リンパ節の腫瘍で顕著な発現が認められる。機能: ミオグロビン遺伝子上流エンハンサー領域 (CCAC ボックス) に結合する転写調節因子。生理的刺激に反応して起こる成体筋の筋原性分化およびリモデリング過程において役割を果たす。PTM: リン酸化されている。類似性: FHA ドメインを 1 つ含む。類似性: フォークヘッド DNA 結合ドメインを 1 つ含む。サブユニット: SIN3B と相互作用して転写を抑制する複合体を形成する。組織特異性: 発生期および成体組織の両方で発現する。成体では、脳、結腸、リンパ節の腫瘍で顕著な発現が認められる。

研究分野

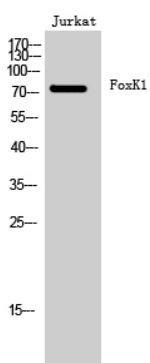
画像データ



FOXC1 抗体を用いた Jurkat 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



FOXC1 抗体を使用した K562 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



FoxK1 ポリクローナル抗体を使用した Jurkat 細胞のウェスタンブロット分析。

